

あだめ



第 577 号

# しらさぎ

令和 8 年 5 月 29 日  
横浜市立公田小学校

## 地域とのつながり ～顔の見える関係づくり～

校長 中川 浩二

5月8日、「地域の一員としての小・中学生」をテーマに、桂台中学校ブロック（桂台中・桂台小・公田小）の地域や保護者の方々、中学生、学校職員が参加する地区懇談会が桂台中学校で開催されました。

その中で、公田小学校出身の桂台中の生徒が、「『しらさぎを見守る会』の方と、今でもお会いすると、あいさつをしています」と話していました。

小学校時代に、毎朝登校の見守りをしていただいた「見守る会」の方々との関係が、中学生になった今も続いていることに、大きな意義を感じます。

当時は、毎朝あいさつを交わす程度だったかもしれませんが、日々のあいさつを積み重ねてきたことで顔の見える関係が築かれ、心のつながりが育まれてきたのだと思います。

今年度は、地域と学校の橋渡し役である「学校・地域コーディネーター」のお二人のご尽力により、新たに1年生の給食のお手伝いが始まりました。

給食の準備や配膳、片づけを地域の方々が支えてくださることで、1年生は徐々に自分たちの力でいえるようになってきました。さらに、給食を共にすることが、地域の方々とのあたたかな関係づくりと子どもたちの心の成長にもつながっています。

地域の方からは、「公田小の子どもたちは、自分の孫のようにかわいい」との言葉をいただきました。また、道で子どもたちが元気に声をかけてくれることを喜んでくださっています。

このような地域の方々との顔の見える関係が、子どもたちの安心感と健やかな成長を支えています。

地域に見守られて育つ経験は、子どもたちの心に深く根づいていきます。そして地域は、さまざまな年齢の人々が共に生きる中で、社会性を育む基盤となります。

今後とも、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。